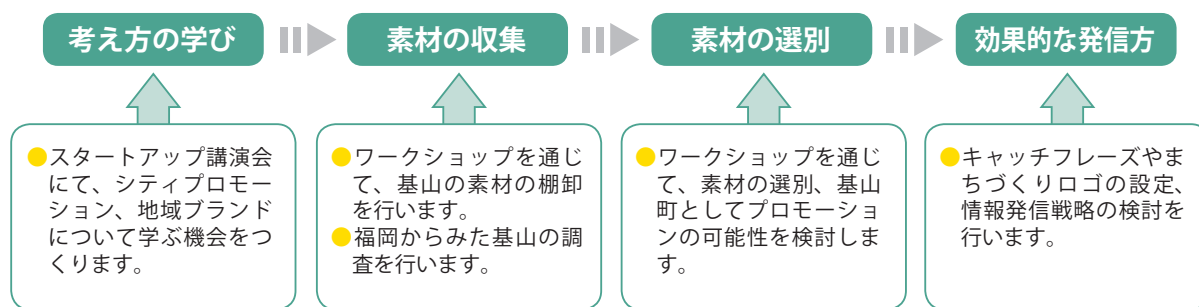


9 ワークショップ報告書

第5次基山町総合計画における取り組み報告

■シティプロモーションを取り入れた展開



スタートアップ講演会

今回の総合計画では計画の過程自体をキャンペーンとし、ALL基山で行う計画を作り上げる気運を高める機会として、また今回の視点のひとつとして重要視したい「シティプロモーション」について学ぶ機会としてスタートアップ講習会を実施しました。

開催内容

- テーマ 「住民がつくるまちの新しいイメージ」
- 講師 中国四国博報堂執行役員 北野尚人 氏
- 参加者 86名（外からの参加者3名）
- 参加者の世代 約半数が60代／20代は2%
- シンポジウムはおおむね良かった 90%
- 参加者のうちワークショップへの参加を検討された人 90%



来場者アンケートより

- 活用は難しい
- カタカナの話が多く本当にできるのか
- 自分の考えていたおもてなしの街づくりは間違っていなかった
- オンリーワンを創る考える
- 外部からの視点を意識して行動することが大切と改めて感じた
- 基山のポジションを高め、基山を売り込む手法が理解できた。今後は自治体も競争力が求められる

総評

「シティプロモーション、ブランド力、デザインの力」という視点に、60代の参加者が半数近くを占める状況でどれだけ理解を得られるかがひとつの焦点となりましたが、柔軟に受け入れていただけた方も少なくありませんでした。ワークショップへの参加興味も9割にのぼり、次につながる結果とすることができました。

福岡から見た基山の調査

基山町に対するイメージ等や周知度を調査しました。またイメージ部分については住民意識調査と同じ問いを設定することで町内外の比較ができるように設定しました。

調査対象：福岡市、久留米市、小郡市、筑紫野市、鳥栖市、三養基郡（基山町をのぞく）
春日市、大野城市、太宰府市、筑紫郡那珂川町

（※別紙報告書あり）

基山町の イメージ

（自由回答からの抜粋）

財政が豊か／福岡と佐賀の間のまち／田舎／基山インター／丸幸ラーメン／工場／東明館／創作劇／パーキングでの食事が楽しみ／遠足で何度も登った／基山に咲く野草が魅力的／うまいカレー屋がある／高速道路ぐらいしか詳しく知らない／環境が良ければ移住したいので税制や居住環境を知りたい／路上にゴミがある／活気を感じられない／どこかに行く際の通過点というイメージ／何県のどこの町か知らない／ドライバースクール／夜間暗い／大興善寺のつつじ、紅葉がすばらしい／蛭を見てみたい など

総 評

基山町についての情報認識が非常に低い結果となりました。町外からのイメージとして確立できているものは、漠然とした自然の豊かさと「基山パーキング」、「丸幸ラーメン」となっています。町内外においても認識のズレが生じており、基山町として、町内外含めてシンボルイメージの発信は不可欠であるといえます。

ワークショップ

ワークショップ：くつろいだ空間の中で、広い意見を拾い出し、グループ、組織、年齢に関わらず自由な意見交換の場となるようワールドカフェ形式を採用。みなさんからの「知恵」を集める場として「知恵café.」とし、多くのご意見をいただきました。その際、今後の人口の考え方となりえる「定住人口アップ」「交流人口アップ」「まちづくり人口アップ」+「シティープロモーション」グループに分かれて話し合いを行いました。

